



齋藤 義保

ミッド ナト ウエイ

タオル

夜空に星が輝き

お月様が 照らして

街道を突っ走る

風の気持ち良さ

裏社会を生きる

私の姿は格好良いと

自分で想う

一服

田野井 孝夫

岩陰に腰を下して

一服と洒落て見たけれど

まだまだ山路は半ばを過ぎたばかり

もう一服とくゆらせて見れば

青い山波は高く連なり

静けさの中で一羽の雷鳥が

低くたわむれ鳴いている



組谷 敬子